

徹底して住民サイドに立つ市政へ！ 市議会へ！



津久井 清の 2020年10~11月号 119号

共育だより 立憲民主党

発行：津久井 清と共育の会 〒273-0136 鎌ヶ谷市佐津間 2-6 津久井自宅 ☎047(444)5262 [FAX 兼用] e-mail: ktsukui@air.linkclub.or.jp

津久井 清のプロフィール

早稲田大学卒業後、(鎌)中部小、(鎌)四中・鎌中の社会科教師として21年間勤めました。市議としては、市民派議員として「教育充実を」「住民と共に住環境改善の戦い」などに力を入れています。これまでに議会報告「共育だより」を119号発行。議会終了後には市議会報告会を開き、市民とのツーウェイ(相互交流)を進めています。

9月市議会で津久井議員は「プラスチックの再資源化と削減に向けた市の取り組み」について一般質問を行いました。(9月18日質問・要旨掲載) なお裏面では新型コロナ関連のニュースを取り上げました。ご一読いただければ幸いです。



(1) 津久井議員質問……本年7月から開始のレジ袋有料化の背景は？

(市答弁) 環境を脅かすプラスチックゴミごみの削減に向けて、国の関係省令が改正され、7月からレジ袋の有料化が義務化されました。

(2) 市のプラごみ袋(赤袋)の内容は、(公財)日本容器包装リサイクル協会からどう評価されていますか？

(市答弁) 最近の5年間ではAランクの評価を受けています。平成18年度にはプラごみの中に乾電池やガラス片が確認されたり、汚染プラごみの混入でDランク評価となり、これが2年続けば処理費用が1億円超の市負担となるところでしたが、市民の皆様の協力によりA評価に返り咲くことができました。

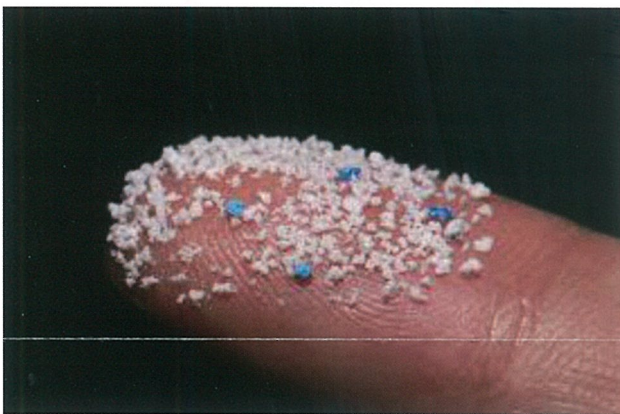
(3) 市広報(7月15日号)掲載の「プラごみ適正化を」の内容は？

(市答弁) 最近プラごみ赤袋の中に混入していたバッテリーにより発煙事故が発生しました。今後火災事故等の発生を防止するため市民の皆様に適正な分別の協力をお願いしました。

(4) 海中に浮遊する5ミ以下の海洋プラスチックの問題点は何か？

(市答弁) 細微な海洋プラスチック⇒魚⇒人間への悪循環となります。

(津久井議員) 今の状態が続くと、2050年には世界中の海



に棲む魚の全量と海洋プラスチックが同量になると推測されています。

◀ 海洋プラゴミを飲んで死に、打ち上げられた鯨

(5) 世界「海洋プラスチック憲章」(2018年)に対して日本は？

(津久井議員) 2018年に世界におけるプラスチックの削減を目指し、「海洋プラスチック憲章」が制定され、G7のカナダ・ドイツ・イギリス・イタリア・EUは批准しましたが、日本は米国と共に批准していません。世界の環境対策先進国から日本は批判されています。

(6) 鎌ヶ谷市の「プラごみ減量の取り組み指針」(2019年)の内容は？

(市答弁) 「プラスチックごみ減量に向けた具体的取り組み」を定めており、市民・市商工会・市役所等で実践しています。

(7) 本年1月、「鎌ヶ谷子ども議会」でのプラごみ削減に向けた子ども達の質問は？

(市答弁) 小学6年生から「海洋汚染防止のため、紙ストローの普及を求める」質問でした。市では紙ストローの使用促進等を図るための情報収集に努め、プラ製品の削減について千葉県学校給食会と協議していきます。

(8) 今後、市としての具体的取り組みはいかが？

(市答弁) 身近なところから「マイボトルの持参推進、会議等でのペットボトル不使用、啓発グッズ等の脱プラ化」等を推進し、海洋プラ問題の改善につなげたいと考えています。

6500mの深海にプラマネキンの首が… (NHKTV映像)

レジ袋の総量はプラスチック生産量の1%にしか過ぎません。プラごみ削減に向けたホンの第一歩です。今世界では、地球温暖化問題と並んで海洋プラスチック問題が大きな地球的課題となっています。8月のNHKテレビの特集で、日本の深海探査艇が6500mの深海に転がるプラスチック製マネキンの首を捉えた衝撃的映像を観ました。”プラスチックは細分化すれど分解せず”=「地球の異物」です。今回の質問で、私達の廃棄する身近なプラごみが世界の海洋汚染につながっていることを事実として訴えなければと思いました。日本も「海洋プラスチック憲章」を一日も早く批准し、環境対策先進国の仲間入りを果たして欲しいと思います。(T)



▲ 6500mの深海のマネキン首



かまがや市民ニュース



PCR検査拡充を求める市民の声、高まる！

鎌ケ谷市内の新型コロナ感染者数は9月22日現在74名に上り、増加傾向は止まりません。この危機的な状況の中、最優先は「命を守る」ことです。そのためには、まず「医療・福祉」の従事者を対象とするPCR検査を充実させることが必要です。

東京都世田谷区(人口92万人)では、保坂区長を先頭に「介護・保育」等の全職員2万3千人に対してPCR検査が行われています。

鎌ケ谷市民有志からも8月6日に清水市長に対して、検査が必要とされる市民も含めて「いつでもどこでもPCR検査、の拡充を求める要望書」が提出されました。清水



市長からは8月28日に「PCR検査の拡大は困難・・・」との残念な回答がありました。一方、森田千葉県知事宛に「PCR検査拡充」を求める署名運動も開始されており、10月20日締め切りで署名を集めています。ご協力いただける方は津久井までご連絡下さい。(☎444-5262、10月20日まで受け付け) ⇨

「オスプレイいらない鎌ケ谷市民の会」結成へ！

9月5日、「オスプレイを考える市民の会」が鎌ケ谷市中央公民館で開催され、30名の市民が参加しました。参加者からは「木更津基地に17機ものオスプレイが配置される」「米国で未亡人製造機と呼ばれ、試行段階でも墜落により延べ30名ものパイロットの命が奪われている。こんな危険なオスプレイは下総基地に来るな！」等の声が多く出されました。2時間を超える論議の結果、「オスプレイいらない鎌ケ谷市民の会」を10月3日に立ち上げ、活動して行くことが決定されました。

松戸・鎌ケ谷地区に県児童相談所を新增設へ

千葉県社会福祉審議会は6月4日、新たに松戸・鎌ケ谷地区に県の児童相談所を建設するよう県知事宛に答申書を提出しました。千葉県は各児童相談所の管轄人口が全国平均を大きく上回っており、現行の県内6カ所では十分な対応が困難な状態となっています。そこで、急増する児童虐待などへの対応のため、県下2カ所の新增設が必要と答申されました。松戸・鎌ケ谷地区の新児童相談所オープンまでには4～5年を要するとのこと。早期建設が求められます。

現在日本のPCR検査数は人口比で世界196カ国中159位です。

投稿

新型コロナ感染は「自己責任」なのか

齊藤 明(東中沢)

大阪大学の三浦麻子教授や慶應義塾大学の平石界教授らの研究グループが3月～4月にかけて米・英・伊・中・日の5カ国で行った意識調査によれば、「新型コロナウィルスの感染は自業自得」と答えた人の割合が、アメリカ1.0%、イギリス1.49%、イタリア2.51%、中国4.83%に対し、日本は11.5%と突出しており、7月～8月に米・英・日で行った再調査の結果でも、アメリカ4.9%、イギリス1.36%に対し、日本は17.24%に上ったそうです。感染元国の中国を除けば日本の割合は他の国の約4～13倍です。”新型コロナ感染は自業自得”と考える日本人的国民性が「自己責任論」を容認し、政府・行政への批判・要求の甘さとなってはいないでしょうか。加えて自己責任論の強調が、一部の人達による「感染者や医療従事者とその家族」への差別・排斥言動(バッシング)にもつながっているように思います。重要なことは責任論や犯人捜しではなく、新型コロナがもたらした医療や暮らしへの甚大な影響に対し、市民としてこの問題を克服してゆくための賢明な行動は何か、ということだと思います。菅首相は「自助」を基本政策の第一として掲げています。しかし自助という言葉が感じさせる冷厳な視線や突き放してではなく、新型コロナや災害等で苦しんでいる人、困っている人を、助け・支え合う「共助と支援」の行動こそが今、最も必要とされているのではないのでしょうか。

弁護士無料法律相談

《日時》10月31(土)・11月28日(土)

開始は13:00から

《場所》トライ事務所(事前予約制)

※ 予約・問い合わせ先

☎444-5262 津久井

津久井市議会報告会

《日時》10月18(日) 13:30～

《場所》キラリ会館会議室3
(中央公民館)

※ 要マスク着用

問い合わせ先 ☎444-5262(津久井)

コロナ問題を考える市民の集い

《日時》10月24(土) 14:00～

《場所》キラリ会館会議室1
(中央公民館)

※ 要マスク着用

問い合わせ先 ☎444-5262(津久井)